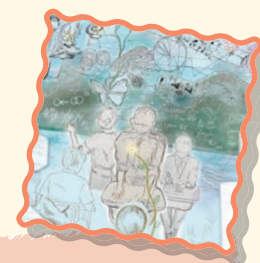


大学受験グノーブルがお届けする
あなたの一步を支える「大学受験だより」



Dear グノ

未来へつづく
未来のきみへ



卒業生がイラストと文で綴る
「私とグノーブル」

イラスト・文 東京大学文科一類1年
須賀 愛佳里さん(白百合学園出身)

創刊特集
大学受験グノーブルを、
数字で見る

Dear Gno みなさま、こんにちは。
「ディアグノ」

このたび大学受験グノーブルでは、「Dear Gno (ディアグノ)」という新しい形のおたよりを発行することになりました。

講師や卒業生の声などを通して、「受験とどう向き合う?」「どうすれば勉強が楽しくなる?」といった疑問や不安に答えるヒントをお届けします。今回は創刊号ということで、いろいろな数字を通して大学受験グノーブルの自己紹介をしています。2006年に創立した大学受験グノーブルは、これまで10,000名近くの卒業生を送り出してきました。「子供たちは、社会の“たからもの”」という信念のもと、生徒たちが学ぶ楽しさを実感できる教室づくりに取り組んでいます。

これまでの卒業生 **9973** 名

「覚える」と「使う」はどう違う?

グノーブル式英語の秘密

受験英語というと、従来「知識として覚える」「問題を解き慣れる」ことが重視されがちですが、グノーブルには英語を生きた言語として「使えるようになる」ことを見据えたカリキュラムがあります。その土台になるのが、毎週の授業に即したオリジナル音声教材 (GSL)。繰り返し聞いて音読することで、リスニングの力だけでなく、英語を語順通りに的確にスピーディに理解する感覚を身につけます。

GSLには学年にあわせたバリエーションがあります。基礎をしっかりと固めたい中学生には短めのダイアローグ、長文を導入する高1生の時期には、意味の区切りで間をおいて読み上げる「チャンクバージョン」。入試間近の高3生用の「ナチュラルスピード」は、CNNのキャスターがニュースを読むスピード (1分間に160~180ワード) が基準になります。

これには開発当初、ナレーターからも「こんなに速くていいの!？」と驚かれたほど。ところが、そのうち耳が慣れた生徒のほうから「これでは遅い」という声があり、さらに1.2倍速の「ハイパーバージョン」も開発されることになりました。大学受験にとどまらず、その後の実践でも意識してつくられた教材です。

Gnoble Sound Laboratory
グノーブル独自開発の音声教材

160 words/min



1クラス的人数
中学生 **10~25**人
高校生 **15~30**人



駅から平均徒歩 **4.3** 分



大学受験グノーブルは

7 つの校舎

6 色のチョークと見やすい黒板
各教科の先生のこだわりと熱量があらわれるのが授業の板書。古文の授業では、品詞ごとに色が分けられていてわかりやすい!と好評です。

板書がきれい!!

入室テストは年に **5** 回

冬期講習の詳細は裏面QRから

季節講習は入室テストなしで受講できます。

大学受験グノーブルを、数字で見る **START**



英単語帳は、使いません

green grass
grow (grow = 成長する)

0

受験勉強にありがちな「丸暗記」や「詰め込み」ではない学びを大切にしています。

理科 英語 数学 国語
週に **1** 回、科目から受講できます
学年により開講科目が異なります。

先生は **2** つの磁石

ひとつは知的な引力を持つマグネット、もうひとつは正しい方向を示すコンパス。頭だけでなく心も動かす授業で生徒の意欲を引き出し、一人ひとりに寄り添った指導を心がけています。

こんにちは。はじめまして、中山です
先生は、いつも初対面の人に会うとき、相手によく見えるよう名札を少し持ち上げながら挨拶をします。職員全員が身につけているこの名札、実は中にはグノーブルが大切にしている24の指針が記されたカードが入っています。ここで紹介する「2つの磁石」「3つの精神」もその一部です。

グノーブルグループの代表で、大学受験グノーブルの英語科講師である中山伸幸

信頼、敬意、ユーモア **3** つの精神が人と人をつなぐ

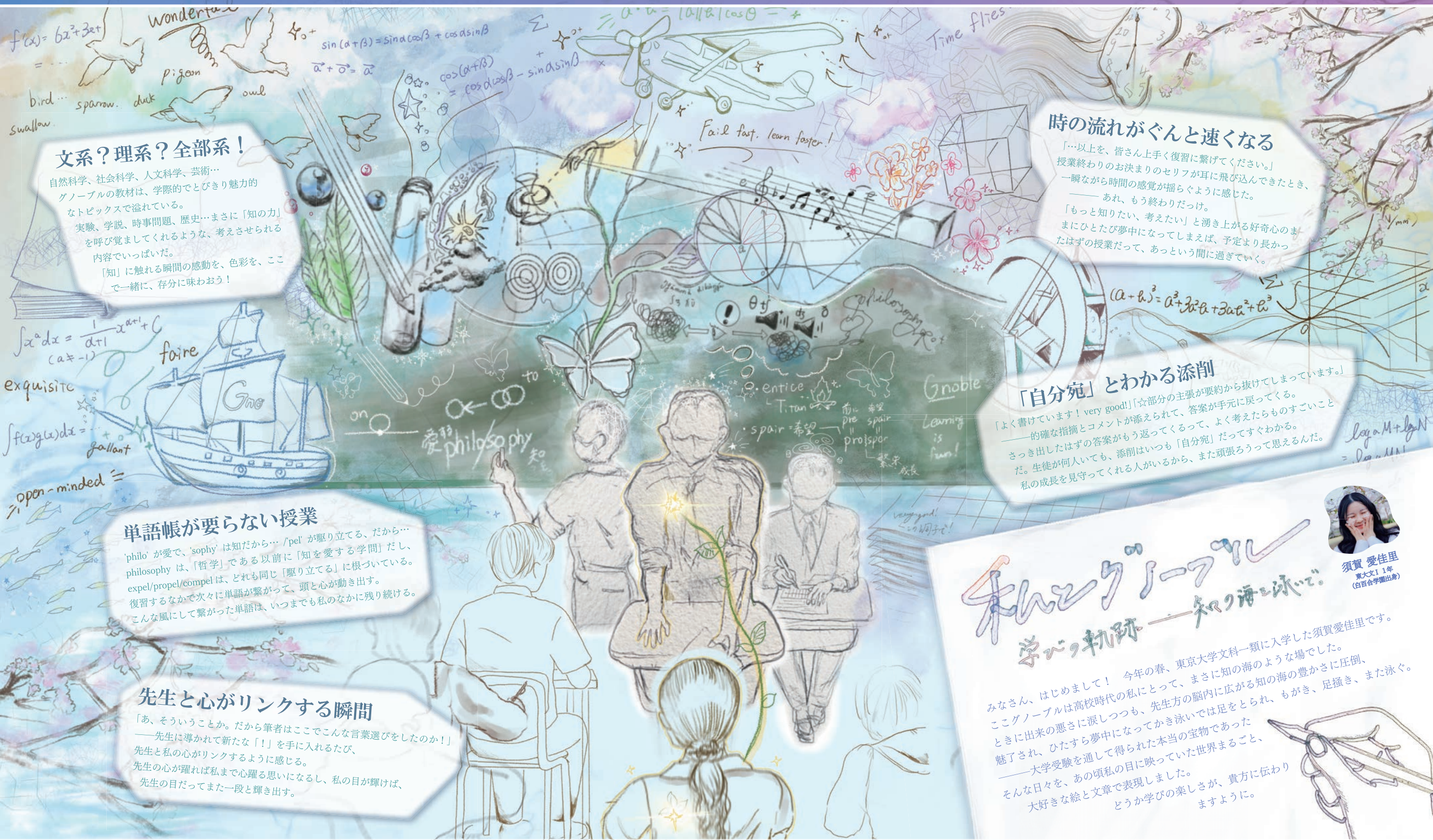
思い切り勉強に打ち込むためには、安心できる人間関係が重要です。生徒と講師・職員が、お互いを信頼し、尊敬しあうこと。潤滑油としてのユーモアは、苦境に立ち向かう大きな勇気にもなります。

大学受験グノーブル開校のあゆみ



グループ **4** つの学びば

大学受験グノーブル 中学受験グノーブル 個別指導グノリンク 英会話グノキッズ



文系？理系？全部系！

自然科学、社会科学、人文科学、芸術…
グノーブルの教材は、学際的でとびきり魅力的なトピックスで溢れている。
実験、学説、時事問題、歴史…まさに「知の力」を呼び覚ましてくれるような、考えさせられる内容でいっぱい。
「知」に触れる瞬間の感動を、色彩を、ここで一緒に、存分に味わおう！

時の流れがぐんと速くなる

「…以上を、皆さん上手く復習に繋げてください。」
授業終わりのお決まりのセリフが耳に飛び込んできたとき、一瞬ながら時間の感覚が揺らぐように感じた。
—— あれ、もう終わりだっけ。
「もっと知りたい、考えたい」と湧き上がる好奇心のままにひとたび夢中になってしまえば、予定より長かったはずの授業だって、あっという間に過ぎていく。

「自分宛」とわかる添削

「よく書けています！ very good!」☆部分の主張が要約から抜けてしまっています。
——的確な指摘とコメントが添えられて、答案が手元に戻ってくる。さっき出したはずの答案がもう返ってくるって、よく考えたものすごいことだ。生徒が何人いても、添削はいつも「自分宛」だったすぐわかる。私の成長を見守ってくれる人がいるから、また頑張ろうって思えるんだ。

単語帳が要らない授業

'philo' が愛で、'sophy' は知だから… /pel' が駆り立てる、だから…
philosophy は、「哲学」である以前に「知を愛する学問」だし、expel/propel/compel は、どれも同じ「駆り立てる」に根づいている。
復習するなかで次々に単語が繋がって、頭と心が動き出す。
こんな風にして繋がった単語は、いつまでも私のなかに残り続ける。

先生と心がリンクする瞬間

「あ、そういうことか。だから筆者はここでこんな言葉選びをしたのか!」
——先生に導かれて新たな「!」を手に入れるたび、先生と私の心がリンクするようになる。
先生の心が躍れば私も心躍る思いになるし、私の目が輝けば、先生の目だってまた一段と輝き出す。

私のグノーブル
学びの軌跡——知の海に泳いで。



須賀 愛佳里
東大文Ⅰ年
(白百合学園出身)

みなさん、はじめまして！ 今年の春、東京大学文科一類へ入学した須賀愛佳里です。
ここグノーブルは高校時代の私にとって、まさに知の海のような場でした。
ときに出来の悪さに涙しつつも、先生方の脳内に広がる知の海の豊かさに圧倒、もがき、足掻き、また泳ぐ。
魅了され、ひたすら夢中になってかき泳いで足をとられ、
——大学受験を通して得られた本当の宝物であった。
そんな日々を、あの頃私の目に映っていた世界まるごと、
大好きな絵と文章で表現しました。
どうか学びの楽しさが、貴方に伝わり
ますように。

冬期講習

(中1~大学受験生)

11/2(日)よりWeb申込開始!

クラスレベル、カリキュラム、
受講内容についてのご相談は随時承っています。
HPよりお気軽にお問い合わせください。

Dear Gno Letter Box

Dear Gno では、みなさんからのご意見や
おたよりを募集しています。
受験や学びにまつわる悩みや疑問を一緒に考えてい
く、そんな「お手紙を交わすような」ページにできたらうれしいです。
みなさんからの「お返事」をお待ちしています。

「お返事」はこちらまで : deargno@gnoble.jp



Gnoble

大学受験 グノーブル

新宿・渋谷・お茶の水・白金高輪・自由が丘
横浜・たまプラーザ

